

- 問1 聖徳太子が行った対外政策について述べた文として、当時の外交姿勢を正しく説明しているものはどれか。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 外国の文化を一切遮断するため、遣唐使の派遣を停止した | 2. 遣隋使を派遣し、中国の王朝と対等な立場での外交を求めた | 3. 隋の皇帝の臣下として認められるため、金印を授かるよう求めた | 4. 朝鮮半島での影響力を強めるため、百済と同盟して唐を攻撃した |
|-------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
- 問2 6世紀半ば、朝鮮半島西南部に位置していた国から、日本へ釈迦如来像や経典が贈られたことで、仏教が公式に伝えられました。このとき、日本へ仏教を伝えた国の名称として正しいものを選びなさい。 (2023年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| 1. 百済 | 2. 渤海 | 3. 新羅 | 4. 高句麗 |
|-------|-------|-------|--------|
- 問3 7世紀初め、推古天皇の摂政であった聖徳太子（厩戸王）は、中国の高度な制度や文化を学ぶために小野妹子らを派遣しました。このとき、小野妹子らが派遣された、南北に分かれていた中国を約300年ぶりに統一した王朝の名前として正しいものを選びなさい。 (2021年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 唐 | 2. 隋 | 3. 秦 | 4. 漢 |
|------|------|------|------|
- 問4 飛鳥時代後半から奈良時代にかけての貨幣の歴史について、正しい説明を述べているものを次の中から選びなさい。 (2019年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 和同開珎は、日本で初めて鑄造された銀銭として全国に普及した。 | 2. 天武天皇の時代に、わが国最初の銅銭である富本銭が鑄造された。 | 3. 当時の政府は、貨幣の流通を促進するために蓄銭叙位令を廃止した。 | 4. 富本銭は、平城京への遷都を記念して藤原不比等によって作られた。 |
|-----------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
- 問5 飛鳥時代、法隆寺の建立など仏教を中心とした国づくりを進めた聖徳太子は、中国大陸を統一した王朝へ使節を派遣しました。この使節の名称と、その代表として派遣された人物の正しい組み合わせを選んでください。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|---------------|---------------|-------------|
| 1. 遣隋使 — 鑑真 | 2. 遣隋使 — 小野妹子 | 3. 遣唐使 — 小野妹子 | 4. 遣唐使 — 鑑真 |
|-------------|---------------|---------------|-------------|
- 問6 飛鳥時代、推古天皇の摂政であった聖徳太子は、中国を統一した隋の高度な制度や文化を取り入れるために使節を派遣しました。607年にこの使節（遣隋使）として中国へ渡った人物の名前として正しいものはどれですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|----------|-------|
| 1. 小野妹子 | 2. 足利義満 | 3. 中大兄皇子 | 4. 鑑真 |
|---------|---------|----------|-------|
- 問7 5世紀ごろの朝鮮半島の情勢を説明した文として、当時の勢力図や外交関係に基づいた正しい記述はどれですか。 (2018年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--|------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 朝鮮半島北部の新羅が、百済を圧倒して日本への文化伝播を独占した。 | 2. 朝鮮半島西南部の百済が、高句麗の南下に対抗するため大和政権と交流した。 | 3. 中国大陸の唐が、朝鮮半島南部の伽耶（任那）地域を直接支配した。 | 4. 高句麗が朝鮮半島の南東部を領有し、大和政権に仏教を伝えた。 |
|-------------------------------------|--|------------------------------------|----------------------------------|
- 問8 聖徳太子が定めた「十七条の憲法」には、仏教の「三宝（仏・法・僧）を敬うこと」に加え、孔子の説いた儒教の思想に基づいた記述が多く見られます。当時の日本の政治状況において、儒教の考え方を法令に取り入れた主な目的として最も適切なものはどれですか。 (2018年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------|------------------------------|------------------------------------|
| 1. 豪族たちに役人としての自覚を持たせ、天皇に対する忠誠や秩序を保つため | 2. 庶民に対して厳しい罰則を設け、社会の犯罪を抑制するため | 3. 遣隋使の派遣を停止し、日本独自の文化を形成するため | 4. 武士の台頭に備え、軍勢力の強化を図るための精神的支柱とするため |
|---------------------------------------|--------------------------------|------------------------------|------------------------------------|
- 問9 6世紀後半から7世紀前半にかけて、朝鮮半島や中国大陸から伝わった仏教の影響を強く受け、飛鳥地方を中心に花開いた日本最初の本格的な仏教文化を何というか答えなさい。 (2020年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 国風文化 | 2. 天平文化 | 3. 禅宗文化 | 4. 飛鳥文化 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問10 663年に朝鮮半島で行われた「白村江の戦い」において、日本（倭）が唐・新羅の連合軍に敗れた後の出来事として、歴史的背景に合致する説明はどれですか。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 敗戦の責任を問い、中大兄皇子が政治の表舞台から退き、大王による豪族連合政治が復活した | 2. 天皇中心の政治を諦め、有力豪族である蘇我氏に全ての政治権力を委ねる体制を整えた | 3. 大陸の影響を拒絶するため、遣唐使の派遣を完全に停止し、国風文化を育てる政策に転換した | 4. 唐や新羅の侵攻に備えて、九州に水城を築き、防人という兵士を配置して国防を強化した |
|---|--|---|---|
- 問11 飛鳥時代の外交と国防に関する記述として、白村江の戦いによる敗戦がその後の日本の政策に与えた影響を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 清の軍勢力に対抗するため、欧米の技術を導入して近代的な軍隊を組織し、江華島事件をきっかけに海外進出を始めた。 | 2. 大陸との交流を完全に断つため、遣唐使を廃止して国風文化を振興し、武士の力による独自の防衛体制を整えた。 | 3. 元（モンゴル）の襲来を警戒し、博多湾の沿岸に石造りの防塁を築いて、全国の御家人を組織した。 | 4. 唐や新羅の侵攻に備え、九州に水城や防人を配置するとともに、都を近江の大津宮へ移して国内の守りを固めた。 |
|---|--|--|--|
- 問12 推古天皇の時代、聖徳太子（厩戸王）らは、従来の氏姓制度のように「家柄」によって地位が決まる世襲の仕組みを改めようとして、そのために導入された「冠位十二階」という制度の主な目的を説明したものとして、最も適切な記述を選びなさい。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 天皇と役人が守るべき政治的な道徳を、十七条の項目にまとめて示すこと。 | 2. 仏教の教えを広めるために、僧侶に十二段階の位を授けること。 | 3. 家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人として登用すること。 | 4. 地方の豪族に対して、代々その土地を支配する権利を認めること。 |
|---------------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
- 問13 聖徳太子が「十七条の憲法」を制定した目的やその内容についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 武士同士の領地争いを裁くための公平な基準を定め、鎌倉幕府の支配を安定させるため | 2. 唐の法律にならって、全国の土地と人民を国家が直接支配する公地公民の制を確立するため | 3. キリスト教の布教を制限し、有力な大名による貿易の独占を禁止して幕府の権威を高めるため | 4. 豪族たちに役人としての自覚を持たせ、争いを避けて天皇の命令に従う体制を整えるため |
|--|--|---|---|
- 問14 645年に始まった大化の改新では、天皇を中心とする新しい国家体制の構築が目指されました。この改革において、遣隋使や遣唐使として中国に渡り、大陸の進んだ政治制度や法律を学んで帰国した留学生や学問僧が任命された、政治の助言を行う重要な役職の名称として正しいものはどれですか。 (2024年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|---------|--------|
| 1. 防人 | 2. 執権 | 3. 検非違使 | 4. 国博士 |
|-------|-------|---------|--------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 遣隋使を派遣し、中国の王朝と対等な立場での外交を求めた	小野妹子を遣隋使として派遣した際、国書の中で中国（隋）の皇帝に対して対等な立場であることを示そうとしました。これは、中国を中心とした従来の秩序から自立し、独自の国家としての地位を確立しようとする意図がありました。
問2	答え 1 百済	6世紀半ば（538年または552年とされる）に、百済の聖明王から日本の欽明天皇へ仏像や経典が献上されたことが、日本への仏教公伝の始まりです。百済は当時、大陸の文化を日本に伝える重要な窓口となっていました。他の選択肢のうち、高句麗は半島北部、新羅は半島東部に位置していた国であり、渤海はのちに中国東北部で興った国です。
問3	答え 2 隋	聖徳太子は、中国の統一王朝である隋に対して「遣隋使」を派遣しました。それまでの朝鮮半島を通じた交流だけでなく、中国と直接国交を結ぶことで、先進的な仏教文化や政治制度を直接取り入れ、天皇を中心とする中央集権国家の確立を目指しました。
問4	答え 2 天武天皇の時代に、わが国最初の銅銭である富本銭が鑄造された。	7世紀後半の天武天皇の時代、国家としての体制を強化する一環として富本銭が作られました。これに続く708年には、武蔵国から銅が献上されたことを記念して和同開珎が発行されます。富本銭は主に儀礼用や限られた範囲での使用だったという説もありますが、わが国最初の「銅銭」という位置づけは歴史的に非常に重要です。
問5	答え 2 遣隋使 ― 小野妹子	聖徳太子が推古天皇の摂政として政治を行っていた7世紀初め、中国を統一していた王朝は隋です。太子は、大陸の高度な文化や制度を取り入れるため、607年に小野妹子を使節として派遣しました。鑑真は奈良時代に唐から日本へ渡った高僧であり、時代や背景が異なります。
問6	答え 1 小野妹子	聖徳太子は、中国の「隋」に「遣隋使」を派遣して大陸の優れた文化や政治制度を学ぼうとしました。607年には小野妹子が使節として送られ、隋の皇帝である煬帝に国書を届けました。これ以前の時代のように中国の皇帝に臣下として仕えるのではなく、主権国家として交流を図ろうとした重要な出来事です。
問7	答え 2 朝鮮半島南西部の百済が、高句麗の南下に対抗するため大和政権と交流した。	5世紀ごろの朝鮮半島では、北部に広大な領土を持つ高句麗が南下政策をとっていました。これに対し、南西部にあった百済は大和政権と連携することで勢力の均衡を図ろうとし、その過程で多くの技術や文化を日本へもたらしました。新羅は南東部、伽耶（任那）は南部に位置していました。
問8	答え 1 豪族たちに役人としての自覚を持たせ、天皇に対する忠誠や秩序を保つため	十七条の憲法は、一般市民に向けた刑法ではなく、朝廷に仕える役人（当時の豪族）の政治的な心得を説いたものです。当時は豪族同士の争いが絶えなかったため、儒教が説く「君臣の義」や「礼」の概念を導入することで、天皇を頂点とした上下関係を明確にし、国家組織としてのまとまりを強化しようとした。このため、和を尊重することや、私心を捨てて公務に励むことなどが強調されています。
問9	答え 4 飛鳥文化	朝鮮半島（百済など）から仏教が伝来し、聖徳太子や蘇我氏の保護を受けて発展した日本最古の仏教文化です。法隆寺の西院伽藍や、広隆寺の弥勒菩薩像などにその特徴を見ることができます。同時期の中国（南北朝・隋）や朝鮮半島の文化の影響を色濃く反映しているのが特徴です。
問10	答え 4 唐や新羅の侵攻に備えて、九州に水城を築き、防人という兵士を配置して国防を強化した	白村江の戦いでの敗北は日本にとって大きな危機であり、中大兄皇子（後の天智天皇）は九州の大宰府周辺に防御用の堤防である水城や朝鮮式山城を築きました。この国防の必要性が、国家の権限を中央に集中させる律令制整備の大きな要因となりました。
問11	答え 4 唐や新羅の侵攻に備え、九州に水城や防人を配置するとともに、都を近江の大津宮へ移して国内の守りを固めた。	白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した中大兄皇子（天智天皇）は、日本への報復的な侵攻を強く警戒しました。そのため、九州の太宰府付近に水城（みずぎ）や大野城などの城を築き、東国から徴集した防人（さきもり）を配置して国境の警備を強化しました。また、都を飛鳥から内陸の大津宮（現在の滋賀県）へ移したのも、防衛上の理由が背景にあります。
問12	答え 3 家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人として登用すること。	冠位十二階は、それまでの「氏（家柄）」に基づく世襲制の官職登用を改め、個人の能力や手柄を評価して役人を採用するために作られました。これにより、優秀な人材を政府の中枢に集め、天皇を中心とする中央集権的な国家体制を整える狙いがありました。選択肢にある「十七条の項目」は、翌年に制定された「十七条の憲法」の説明です。
問13	答え 4 豪族たちに役人としての自覚を持たせ、争いを避けて天皇の命令に従う体制を整えるため	当時の政治は有力な豪族たちの連合体のような性格が強く、しばしば対立が起きていました。聖徳太子は、仏教や儒教の思想を背景に「和」の精神や「天皇の命令への服従」を説くことで、豪族を天皇に仕える「役人」へと変貌させ、中央集権的な国家をつくる基盤を固めようとした。
問14	答え 4 国博士	飛鳥時代の海外交流に関する記録によれば、遣隋使や遣唐使に同行して大陸へ渡った人々の中には、長期間滞在して現地の高度な統治システムを学ぶ者がいました。彼らは帰国後、その知識を高く評価されて「国博士（くにのはかせ）」という役職に就き、大化の改新における律令国家建設に向けた理論的な指導者として活躍しました。